

建設事業の進捗状況と効果

- 1. 木曽川水系フルプラン関係施設の概要 2
- 2. 建設事業の進捗状況
 - ・ 徳山ダム建設事業 5
 - ・ 木曽川水系連絡導水路事業 8
 - ・ 愛知用水二期事業 9
 - ・ 木曽川右岸施設緊急改築事業 11

1. 木曽川水系フルプラン関係施設の概要

● 現行フルプランに基づく事業(4事業)

(1) 徳山ダム建設事業

徳山ダム

(4) 木曽川右岸施設緊急改築事業

木曽川右岸施設緊急改築

(3) 木曽川水系連絡導水路事業

木曽川水系連絡導水路

(2) 愛知用水二期事業

愛知用水二期

Map labels include: 徳山ダム, 阿木川ダム, 三重用水, 長良導水, 木曽川総合用水, 木曽川右岸施設緊急改築, 木曽川用水施設緊急改築, 徳山ダム, 阿木川ダム, 三重用水, 長良導水, 木曽川総合用水, 木曽川右岸施設緊急改築, 木曽川用水施設緊急改築, 徳山ダム, 阿木川ダム, 三重用水, 長良導水, 木曽川総合用水, 木曽川右岸施設緊急改築, 木曽川用水施設緊急改築.

1. 木曽川水系フルプラン関係施設の概要

● フルプランに基づく事業 ①

木曽川総合用水事業



岩屋ダム
木曽川大堰

【目的】

- ・木曽川中下流部の農地に対する農業用水の補給
- ・岐阜県、愛知県及び三重県の水道用水及び工業用水の供給
- ・洪水調節、発電

【事業主体】

- ・(独)水資源機構


【河川名】

- ・木曽川水系木曽川、木曽川支川飛驒川及び飛驒川支川馬瀬川

【工期】

- ・昭和39年度～昭和57年度

三重用水事業



中里ダム

【目的】

- ・三重県北勢地域の農地に対する農業用水の補給
- ・三重県の水道用水及び工業用水の供給

【事業主体】

- ・(独)水資源機構


【河川名】

- ・木曽川水系揖斐川支川牧田川

【工期】

- ・昭和39年度～平成4年度

長良川河口堰建設事業



【目的】

- ・愛知県及び三重県の水道用水及び工業用水の確保
- ・塩害防除、流水の正常な機能の維持

【事業主体】

- ・(独)水資源機構


【河川名】

- ・木曽川水系長良川

【工期】

- ・昭和43年度～平成6年度

阿木川ダム建設事業



【目的】

- ・岐阜県及び愛知県の水道用水及び工業用水の確保
- ・洪水調節、流水の正常な機能の維持

【事業主体】

- ・(独)水資源機構

【河川名】

- ・木曽川水系木曽川支川阿木川

【工期】


- ・昭和44年度～平成11年度
(平成2年度概成)

3

1. 木曽川水系フルプラン関係施設の概要

● フルプランに基づく事業 ②

味噌川ダム建設事業



【目的】

- ・岐阜県及び愛知県の水道用水及び工業用水の確保
- ・洪水調節、流水の正常な機能の維持、発電

【事業主体】

- ・(独)水資源機構


【河川名】

- ・木曽川水系木曽川

【工期】

- ・昭和48年度～平成13年度
(平成8年度概成)

長良導水事業



長良導水取水口

【目的】

- ・取水施設及び水路等を建設することにより長良川河口堰に確保される愛知県の水道用水の供給

【事業主体】

- ・(独)水資源機構


【河川名】

- ・木曽川水系長良川

【工期】

- ・平成4年度～平成9年度

木曽川用水施設緊急改築事業



【目的】

- ・木曽川用水施設のうち老朽化等により低下した施設の機能の回復

【事業主体】

- ・(独)水資源機構

【河川名】

- ・木曽川水系木曽川

【工期】

- ・平成8年度～平成13年度

4

2. 建設事業の進捗状況（徳山ダム）

○場所 岐阜県揖斐郡揖斐川町(木曾川水系揖斐川)

○目的

- ・洪水調節（揖斐川の洪水防御）
- ・流水の正常な機能の維持（異常渇水時の緊急水の補給含む）
- ・水道用水の供給（岐阜県、愛知県、名古屋市：最大4.5m³/s）
- ・工業用水の供給（岐阜県、愛知県、名古屋市：最大2.1m³/s）
- ・発電（中部電力(株)：最大 153,000kW）
- ・横山ダムかんがい用水の代替補給（最大22m³/s）

○諸元 ロックフィルダム、高さ161m
 総貯水容量6億6千万m³
 新規利水容量7,800万m³

○最終事業費 約3,341億円

○工期 昭和46年度～平成23年度（平成19年度概成）

○経緯

- ・昭和46年度 実施計画調査着手
- ・昭和47年度 建設事業着手
- ・平成11年度 本体工事着手
- ・平成18年度 試験湛水開始
- ・平成19年度 概成
- ・平成20年度 管理開始

○事業の進捗状況

徳山ダム建設事業は、平成19年度に概成し、平成20年4月より管理開始。また、徳山ダム直下に建設する徳山水力発電所については、中部電力(株)が平成26年度運転開始に向けて平成21年度に工事に着手



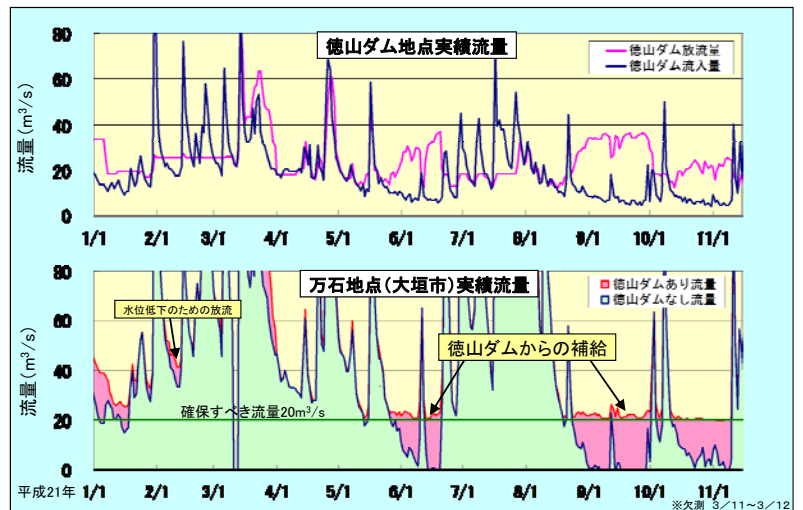
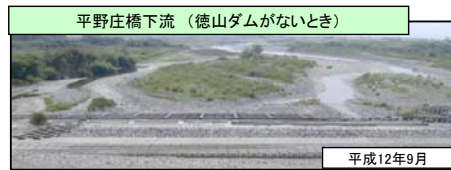
徳山ダム	洪水調節容量	
	洪水期	12,300万m ³
	非洪水期	1,400万m ³
	新規利水容量	7,800万m ³
	不特定容量	
	洪水期	11,500万m ³
	非洪水期	22,400万m ³
	渇水対策容量	5,300万m ³
	発電専用容量	1,140万m ³
	堆砂及び底水容量	27,960万m ³

2. 建設事業の進捗状況（徳山ダム）

【効果①】

平成21年6月から11月までの渇水時に、徳山ダムからの補給により、揖斐川(中流部)の瀬切れを防止する等、流況を改善。

● 徳山ダムの流況改善



2. 建設事業の進捗状況（愛知用水二期）

○場所

愛知用水幹線水路（岐阜県、愛知県）
牧尾ダム（長野県木曾郡木曾町、王滝村）

○目的

- ・農業用水等の供給に係る水路等の機能回復、水供給の安定化
- ・阿木川ダム及び味噌川ダムにより確保される愛知県の水道用水の一部及び同県の工業用水の供給

○諸元

- ・導水施設 幹線水路：延長120km
支線水路：延長493km
最大通水量：32.4m³/s

・水源施設 牧尾ダム

貯砂ダム工	2ヶ所
床止工	1ヶ所
堆砂除去工	約514万m ³

○最終事業費 約3,059億円

○工期 昭和56年度～平成18年度

○経緯

- ・昭和57年度 事業実施方針の指示
- ・昭和57年度 建設工事着手
- ・平成60年度 事業実施方針（第1回変更）の指示
- ・平成7年度 事業実施方針（第2回変更）の指示
- ・平成12年度 事業実施方針（第3回変更）の指示
- ・平成16年度 二期事業建設工事完了（水路等施設）
- ・平成18年度 二期事業建設工事完了（牧尾堆砂対策）

○事業の進捗状況

水路等施設の改築は平成16年度に完了し、牧尾ダム堆砂対策は平成18年度に完了
平成19年度からは、愛知用水事業及び愛知用水二期事業で建設された施設の一体的な管理を実施中

■位置図



水路等の改築（開水路二連化）

着手前



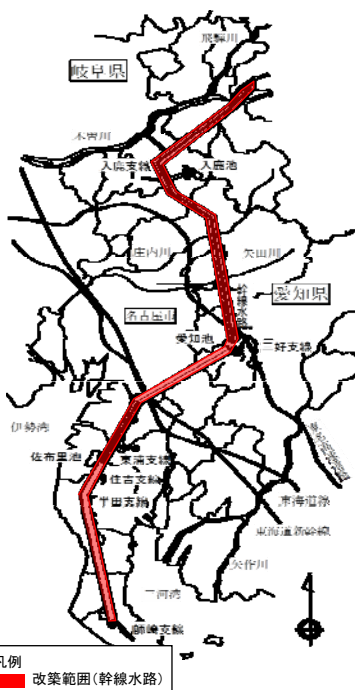
完成後



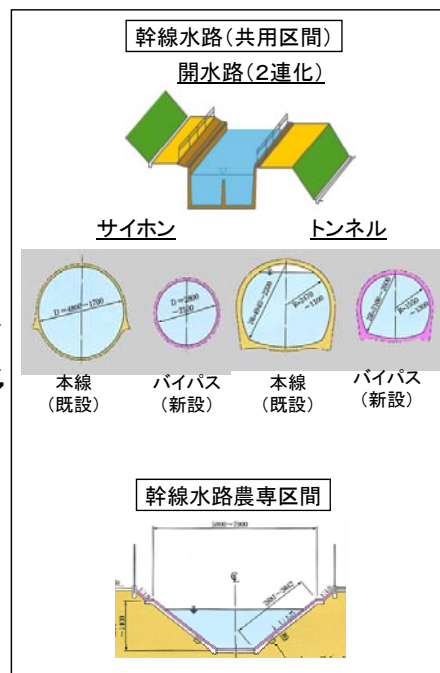
9

2. 建設事業の進捗状況（愛知用水二期）

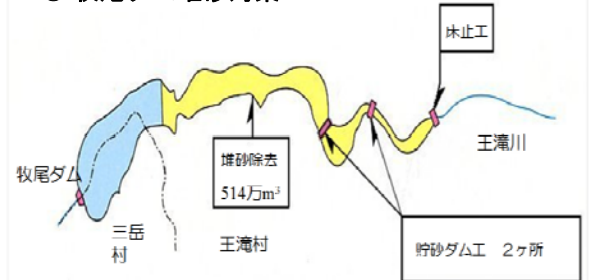
●水路等施設改築



凡例
■ 改築範囲（幹線水路）



●牧尾ダム堆砂対策



堆砂除去状況



【効果】

長野県西部地震（昭和59年）による牧尾ダム貯水池内へ崩落・流入した土砂を除去するとともに、貯砂ダムを設置することにより、ダム貯水池容量の回復・安定が図られた。

10

2. 建設事業の進捗状況（木曾川右岸施設緊急改築）

○場所

幹線導水路：岐阜県加茂郡七宗町
 幹線用水路：岐阜県美濃加茂市、加茂郡川辺町
 支線用水路：岐阜県美濃加茂市、加茂郡坂祝町、
 加茂郡富加町、加茂郡川辺町

○目的

・木曾川右岸施設の従前の機能を回復し、農業用水、水道用水及び工業用水の安定供給並びに安全な施設管理の確保を図る

○諸元

・幹線導水路 沈砂池 一式
 ・幹線用水路 右岸幹線水路：延長約1km
 左岸幹線水路：延長約3km
 幹線用水路（農業専用）：延長約1km
 ・支線用水路 延長約4km

○事業費 約40億円

平成21年度までの予算額 2億円（進捗率約5%）
 平成22年度当初予算額 3億円

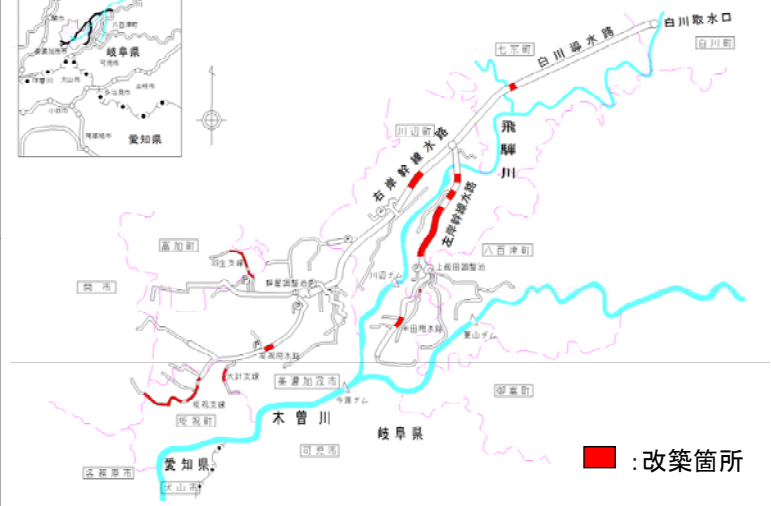
○工期 平成21年度～平成26年度（予定）

○事業の進捗状況

平成21年9月に事業実施計画の認可を受け、PC管の布設替え等を行うとともに、今後の水路改築に向けた測量・設計を実施中



木曾川右岸施設緊急改築事業概要図



■：改築箇所



管からの漏水に伴う農地への湛水及び農作物被害状況（坂祝支線PC管）



PC鋼線が発錆・破断し管体が破裂

2. 建設事業の進捗状況（木曾川右岸施設緊急改築）

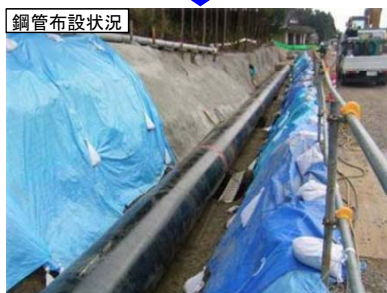
● PC管の布設替え等

・PC管の布設替え

（施工前）



（施工後）



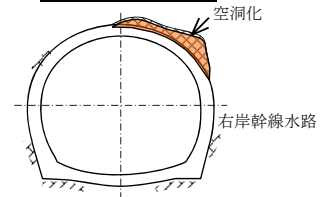
【効果】

PC管の布設替え等により、施設の長寿命化が図られる。

● トンネル上部の空洞処理

・トンネル上部の空洞に裏込めを行う。

トンネル空洞化図



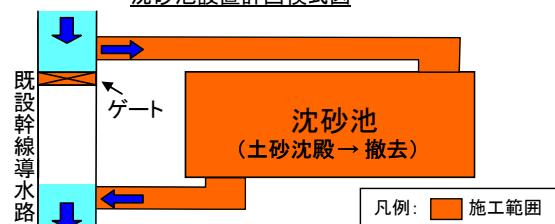
【効果】

トンネル上部の空洞処理により、トンネルの落盤事故を防止する。

● 沈砂池の設置

・沈砂池を新たに設置し、白川取水口から流入してくる土砂を沈砂池で沈殿させる。

沈砂池設置計画模式図



【効果】

沈砂池の設置により、下流水路への土砂の流下を軽減し、水路・サイホンの流水阻害を防止する。